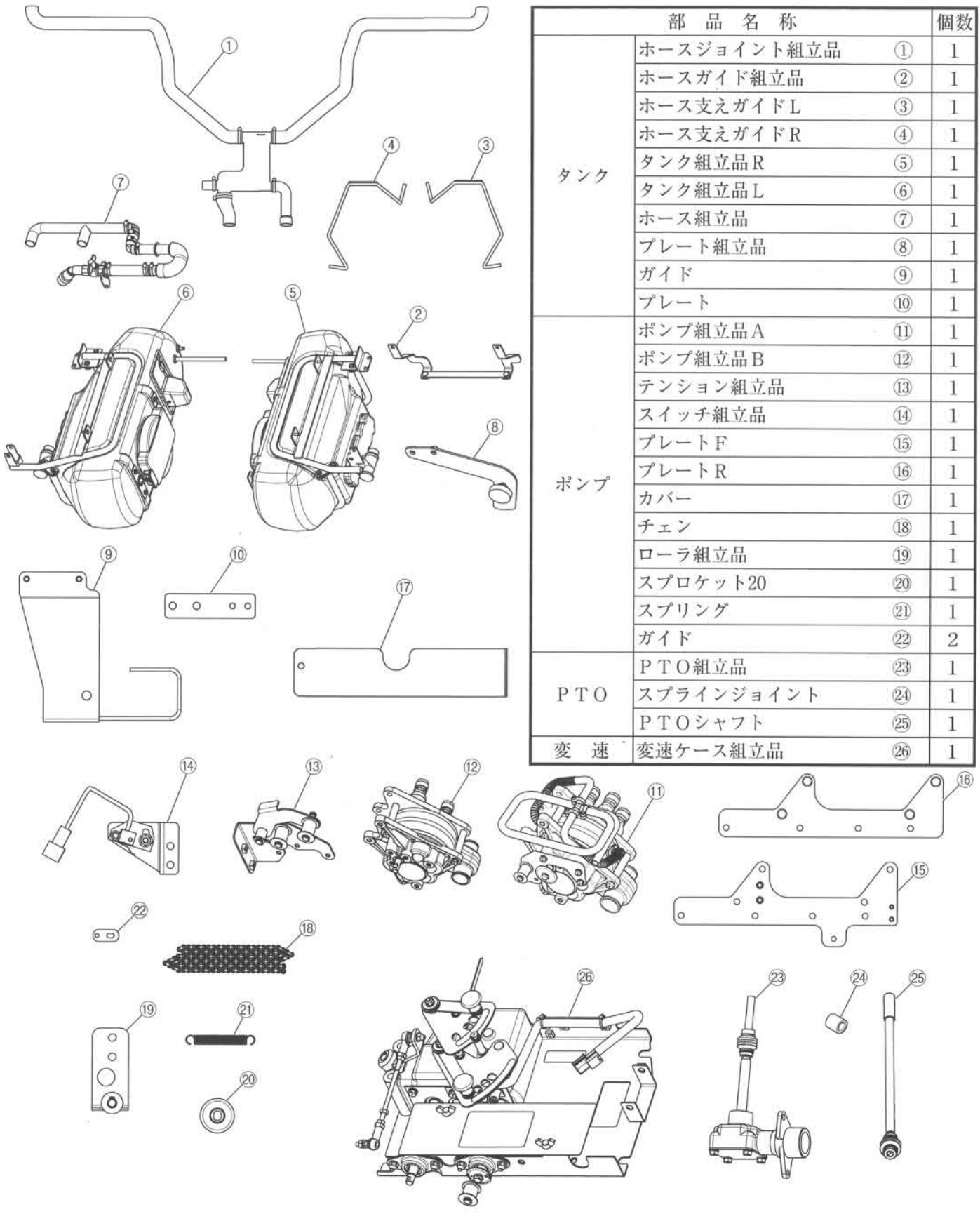
# ペースト施肥機 PST-E8A型 取付け要領書

No.022005-26055856101

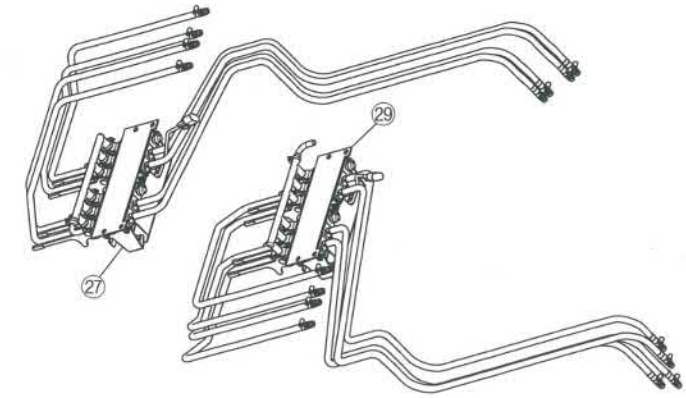
## 1．キット部品の確認

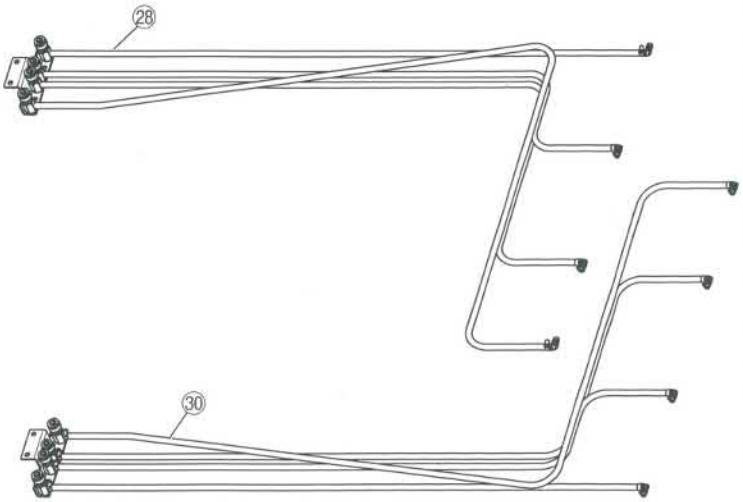
（一覧表と部品を照らし合わせてください。）

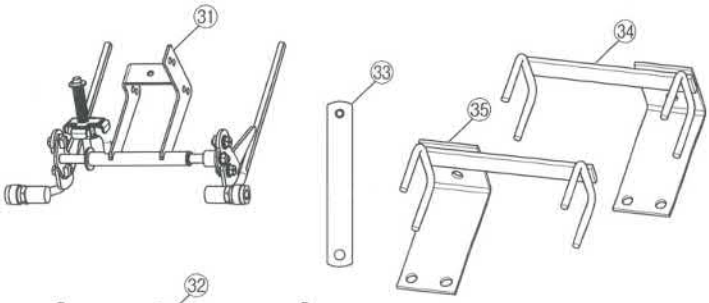


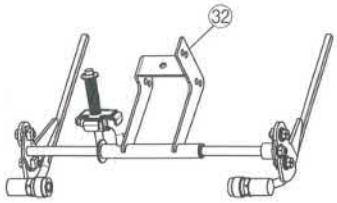

キット部品一覧表

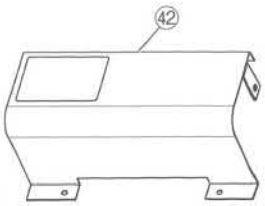
| 部品名称 | | | 個数 |
|---|---|---|---|
| タンク | ホースジョイント組立品 | ① | 1 |
| | ホースガイド組立品 | ② | 1 |
| | ホース支えガイドL | ③ | 1 |
| | ホース支えガイドR | ④ | 1 |
| | タンク組立品R | ⑤ | 1 |
| | タンク組立品L | ⑥ | 1 |
| | ホース組立品 | ⑦ | 1 |
| | プレート組立品 | ⑧ | 1 |
| | ガイド | ⑨ | 1 |
| | プレート | ⑩ | 1 |
| ポンプ | ポンプ組立品A | ⑪ | 1 |
| | ポンプ組立品B | ⑫ | 1 |
| | テンション組立品 | ⑬ | 1 |
| | スイッチ組立品 | ⑭ | 1 |
| | プレートF | ⑮ | 1 |
| | プレートR | ⑯ | 1 |
| | カバー | ⑰ | 1 |
| | チェン | ⑱ | 1 |
| | ローラ組立品 | ⑲ | 1 |
| | スプロケット20 | ⑳ | 1 |
| | スプリング | ㉑ | 1 |
| | ガイド | ㉒ | 2 |
| PTO | PTO組立品 | ㉓ | 1 |
| | スプラインジョイント | ㉔ | 1 |
| | PTOシャフト | ㉕ | 1 |
| 変速 | 変速ケース組立品 | ㉖ | 1 |



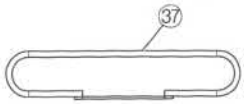





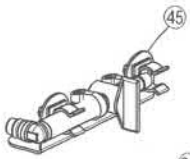


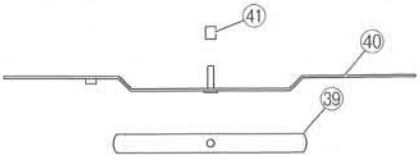


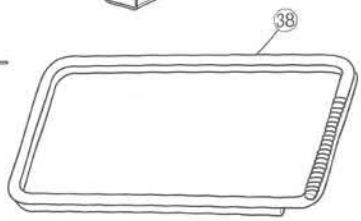



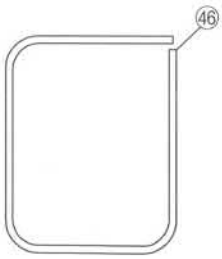


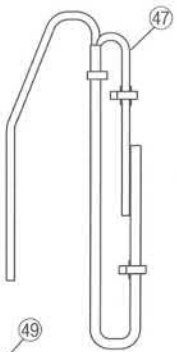


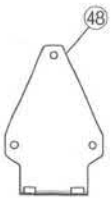


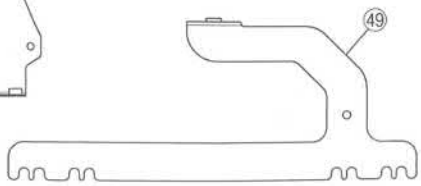



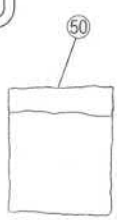



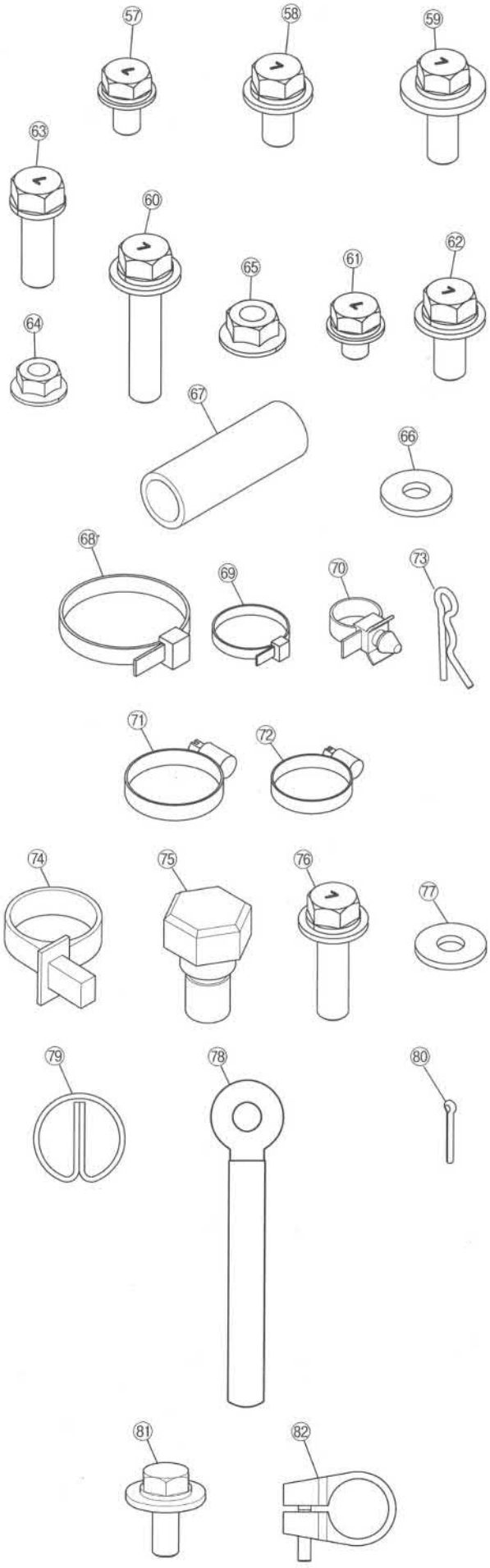







## キット部品一覧表

| 部品名称 | | | 個数 |
|---|---|---|---|
| インジケータ | インジケータ組立品L | ㉗ | 1 |
| | パイプ組立品L | ㉘ | 1 |
| | インジケータ組立品R | ㉙ | 1 |
| | パイプ組立品R | ㉚ | 1 |
| ノズル | ノズル組立品A | ㉛ | 2 |
| | ノズル組立品B | ㉜ | 2 |
| | 支点プレート | ㉝ | 4 |
| パイピング | パイプガイドR | ㉞ | 1 |
| | パイプガイドL | ㉟ | 1 |
| | パイプガイド | ㊱ | 2 |
| | パイプガード | ㊲ | 1 |
| | 戻しホース | ㊳ | 2 |
| | 押さえプレート | ㊴ | 1 |
| | ベース | ㊵ | 1 |
| | カラー | ㊶ | 1 |
| | ホースカバー | ㊷ | 1 |
| | ブラケット | ㊸ | 1 |
| | ホルダ | ㊹ | 1 |
| | コック組立品 | ㊺ | 1 |
| 電　装 | リードワイヤJ | ㊻ | 1 |
| | リードワイヤC | ㊼ | 1 |
| | 電装ガイドプレート | ㊽ | 2 |
| ノズルゲージ | ノズルゲージ | ㊾ | 1 |
| 取付部品 | 各種ボルト・ナット・バンドなど | ㊿ | 一式 |
| その他 | 施肥量マーク | 51 | 1 |
| | 取扱いマーク | 52 | 1 |
| | エア抜きマーク | 53 | 1 |
| | 操作ラベル | 54 | 4 |
| | 取扱説明書 | 55 | 1 |
| | 取付要領書 | 56 | 1 |



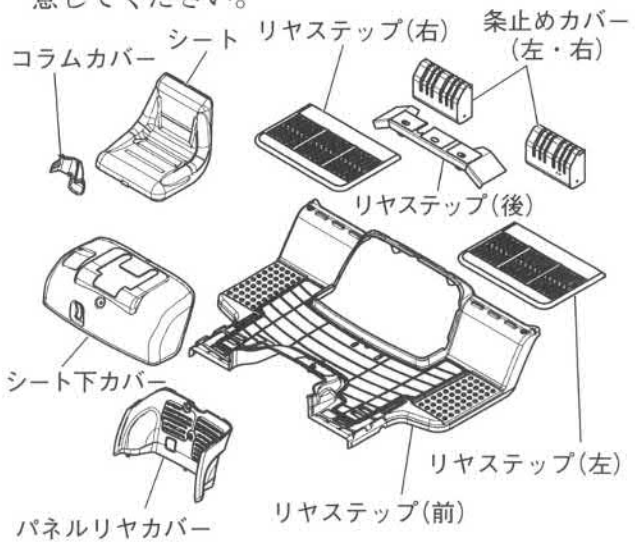

・取付部品㊿の内訳

| No. | 名　　称 | サイズ | 個数 |
|---|---|---|---|
| ㊼ | Hボルト | M6×16 | 4 |
| ㊽ | Hボルト | M8×16 | 18 |
| ㊾ | Hボルト(大径ワッシャ付) | M8×20 | 4 |
| ㊿ | Hボルト | M8×50 | 2 |
| (61) | Hボルト | M6×12 | 12 |
| (62) | Hボルト | M8×20 | 18 |
| (63) | Fボルト | M8×25 | 2 |
| (64) | フランジナット | M6 | 1 |
| (65) | フランジナット | M8 | 13 |
| (66) | ワッシャ | φ18×t1.6 | 4 |
| (67) | カラー | | 2 |
| (68) | ワイヤバンド（大） | | 23 |
| (69) | ワイヤバンド（中） | | 5 |
| (70) | ワイヤバンド | | 2 |
| (71) | ホースバンド（中） | | 4 |
| (72) | ホースバンド（小） | | 2 |
| (73) | スナップピン | | 9 |
| (74) | ワイヤバンド | | 4 |
| (75) | 胴付きボルト | M8×10 | 4 |
| (76) | Hボルト | M8×30 | 4 |
| (77) | ワッシャ | φ15×t1.0 | 1 |
| (78) | ボルトクランプ | (M8用) | 1 |
| (79) | スプリング | | 1 |
| (80) | 割ピン | | 2 |
| (81) | Hボルト(大径ワッシャ付) | M6×16 | 1 |
| (82) | ホースクランプ | | 6 |

## 2. 本機の準備

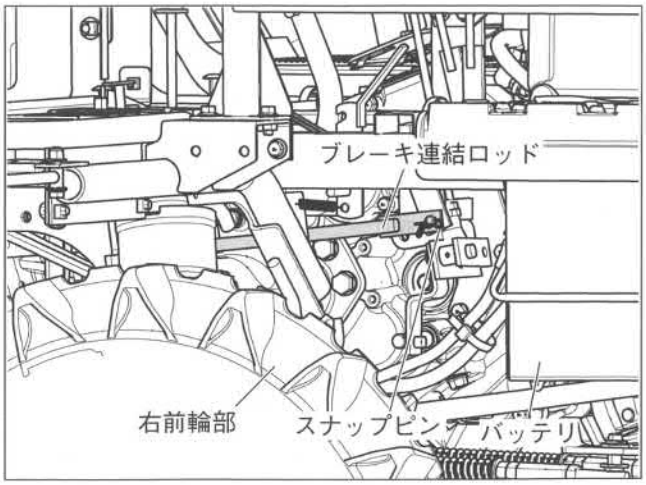
❶ コラムカバーを取外します。
❷ パネルリヤカバーを取外します。
❸ シートを取外します。
❹ シート下カバーを取外します。
❺ リヤステップを取外します。
❻ 条止めカバーを取外します。
・条止めレバーのグリップ（4個）を外してください。

※取外したグリップなどは，無くさないように注意してください。



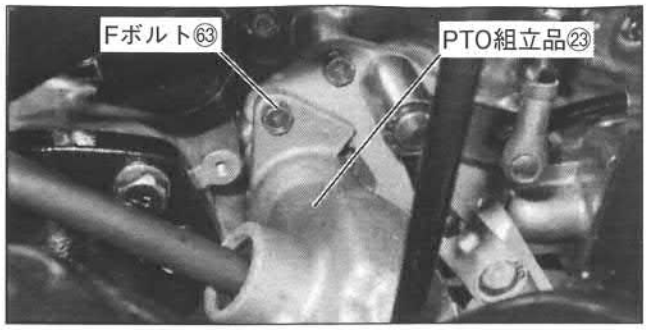

## 3. ＰＴＯ組立品の取付け

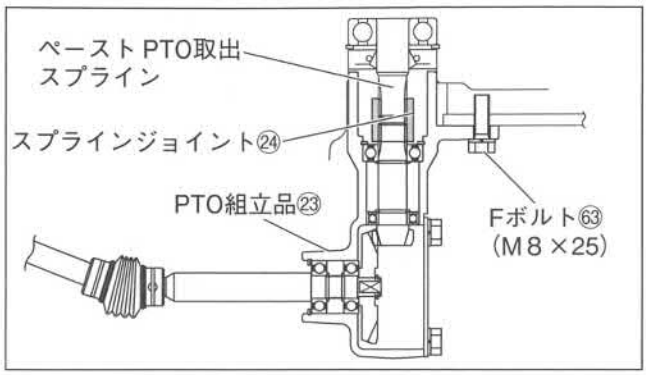
❶ スナップピンを外し，ブレーキ連結ロッドを外します。




❷ ＰＴＯ組立品㉓にスプラインジョイント㉔を入れ，ミッションケース横のペーストＰＴＯ取出口にＦボルト㊸（Ｍ８×25）で取付けます。（スプライン部はグリスを塗布します）

※PTO取出口が汚れているときは掃除をします。

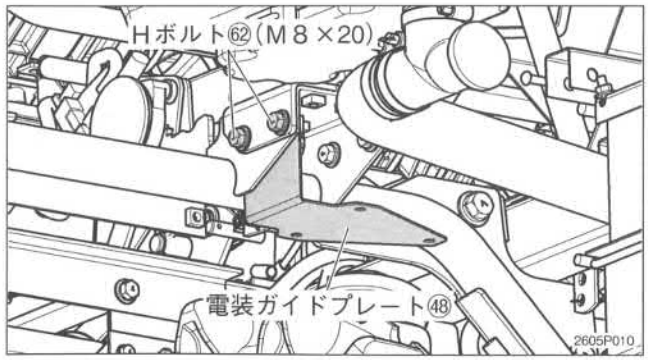


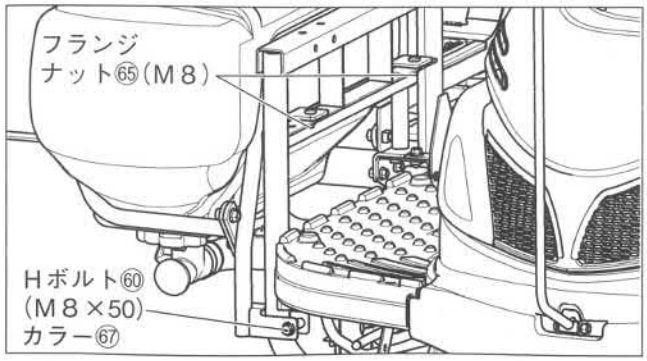

❸ ブレーキ連結ロッドを元に戻します。

## 4. タンク組立品の取付け

❶ 機械前方両側のフレームにタンク組立品Ｌ⑥・Ｒ⑤を取付けます。タンク組立品下部のコの字プレートをフレームに挟み込むようにし，タンク組立品のＰボタンをフレーム穴に引っかけ，Ｈボルト㊷（Ｍ８×20）と電装ガイドプレート㊽で取付けます。

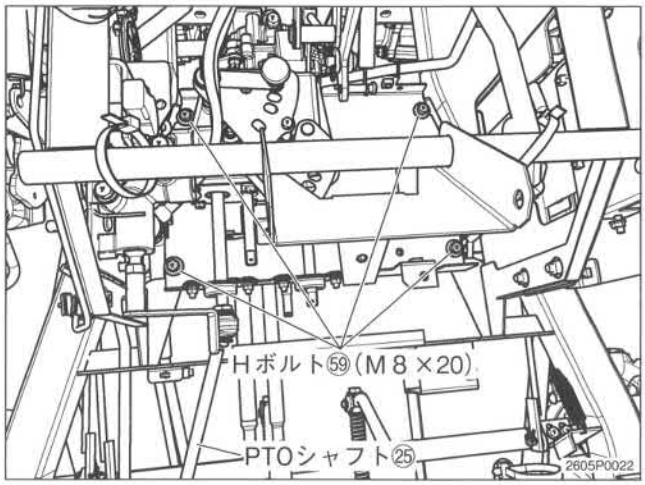


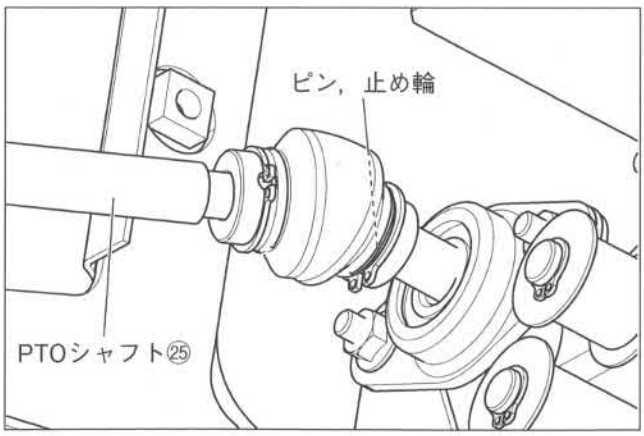

❷ タンク組立品下部のコの字プレートは，前方からカラー㊼を挿入し，Ｈボルト㊿（Ｍ８×50）で固定します。引っかけたＰボタン部はフランジナット㊺で固定します。



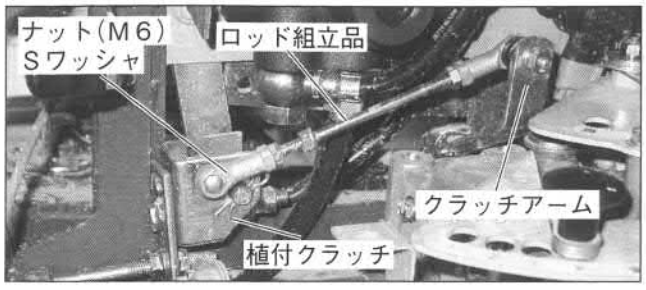
## 5. 変速ケース・クラッチの取付け

❶ 変速ケース組立品㉖をHボルト㊾（M８×20，大径ワッシャ付）でフレームの上に取付けます。このとき，ＰＴＯシャフト㉕を変速入力軸にピン，止め輪（ピン，止め輪はＰＴＯシャフト㉕組付品）で接続します。（スプライン部にはグリスを塗布します）



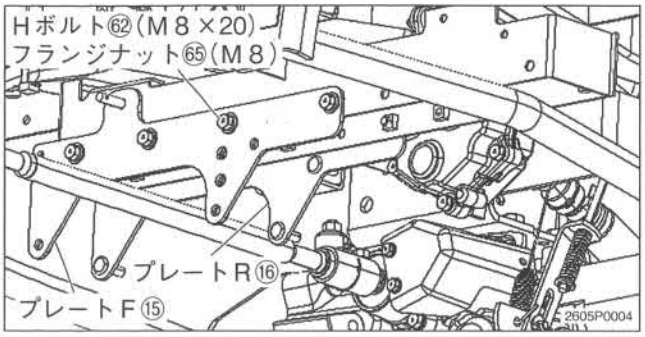




❷ 植付クラッチ側面の穴と，変速ケースのクラッチアームをロッド組立品でつなぎ，植付クラッチ側だけSワッシャ・ナット（M６）（Sワッシャ・ナットはロッド組付品）で固定します。（クラッチの調整は最後に行います）

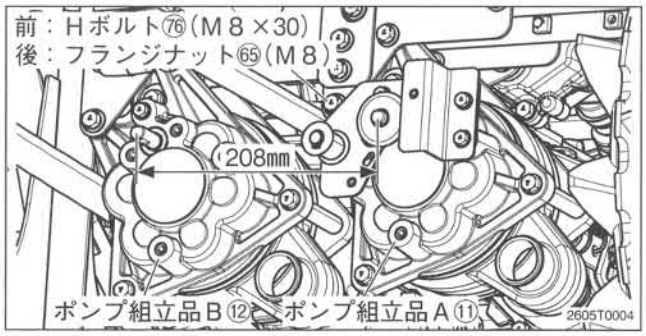



## 6. ポンプ組立品の取付け

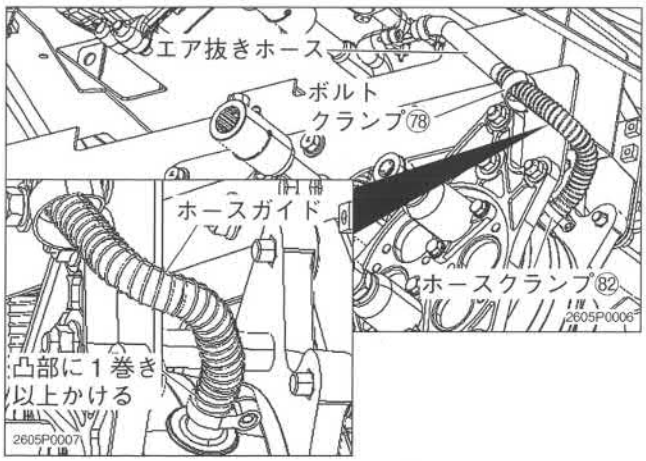
❶ プレートF⑮／R⑯をHボルト㊷（M８×20）フランジナット㊺（M８）でフレームに取付けます。（プレートFの裏板上面をフレーム下面に沿わせ取付け）



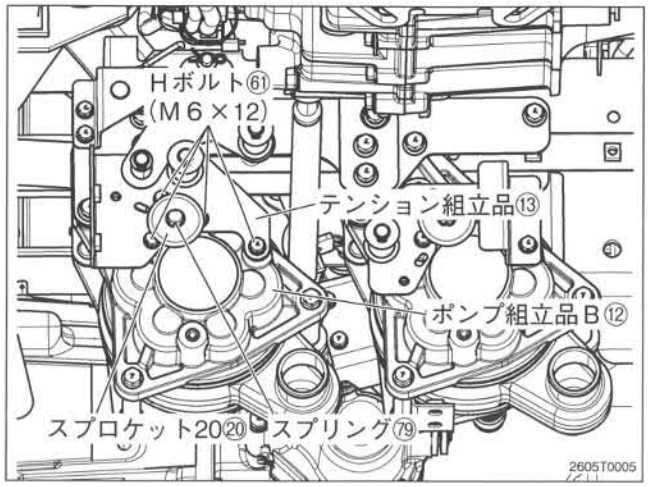

❷ ポンプ組立品A⑪／B⑫をHボルト㊻（M８×30）とフランジナット㊺（M８）で取付けます。（ポンプ入力軸芯間208㎜（参考値））



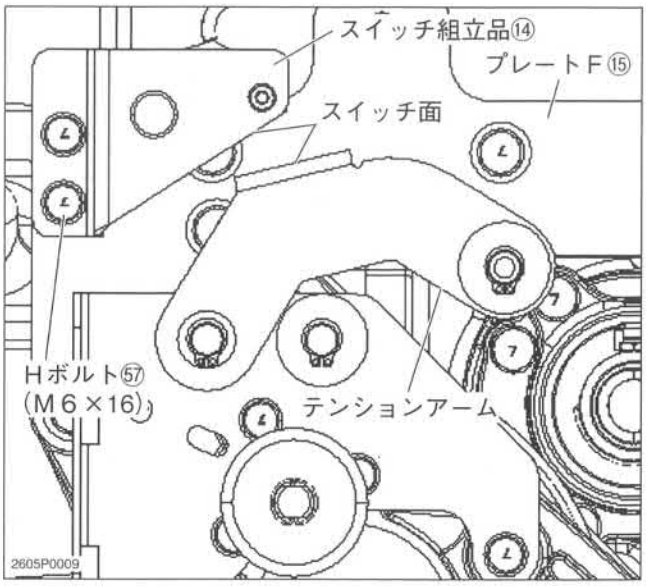

❸ ポンプ組立品A⑪に組んであるエア抜きホースを図のようにフレームに通し短い方をポンプ組立品B⑫にホースクランプ㊽でつなぎます。このときホースガイドがポンプノズルの凸部に１巻き以上かかるように取付けます。ポンプ組立品Bの後方１箇所にボルトクランプ㊽を共締めしエア抜きホースがブレーキロッド・植付ＰＴＯシャフトなどに当たらないようにポンプ部のボルトクランプ㊽でエア抜きホースを固定します。



❹ ポンプ組立品Ｂ⑫にテンション組立品⑬をＨボルト⑥①（Ｍ６×12）で取付けます。ポンプ組立品Ｂの入力軸にスプロケット20⑳をボスが後ろ向きになるようスプリング⑦⑨で取付けます。

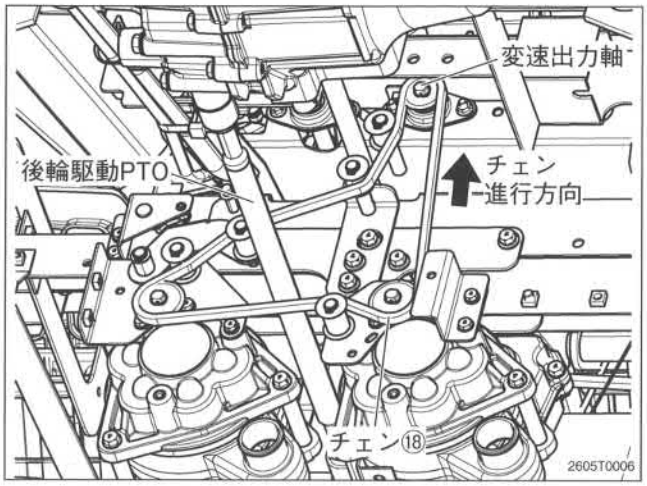



❺ プレートＦ⑮にスイッチ組立品⑭をＨボルト⑤⑦（Ｍ６×16）で取付けます。テンションアームを動かし，スイッチ組立品とテンションアームのスイッチ面が合致するように取付けます。スイッチ組立品取付後，テンションアームをスイッチ側に倒したときに，スイッチが作動する（カチッと音がする）ことを確認してください。作動しない場合は，スイッチ組立品の取付けを調整してください。

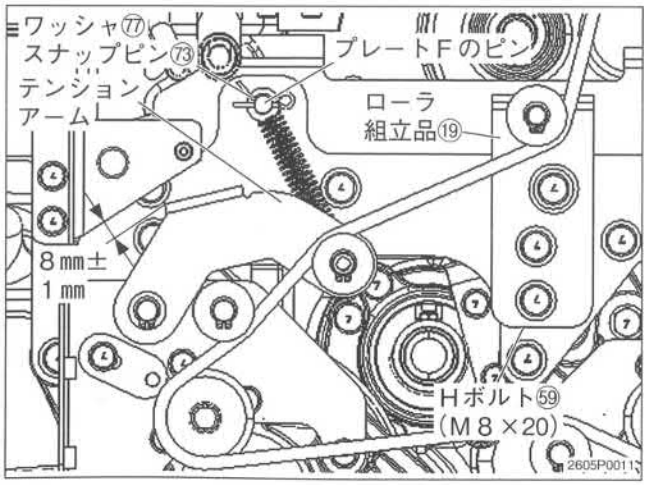



❻ 変速出力軸とポンプをチェン⑱でつなぎます。後輪駆動ＰＴＯをかわすためチェンは継ぎ手リンクを外して行ってください。継ぎ手リンクを再度つなぐときは継ぎ手クリップの開放部がチェンの進行方向とならないようにしてください。

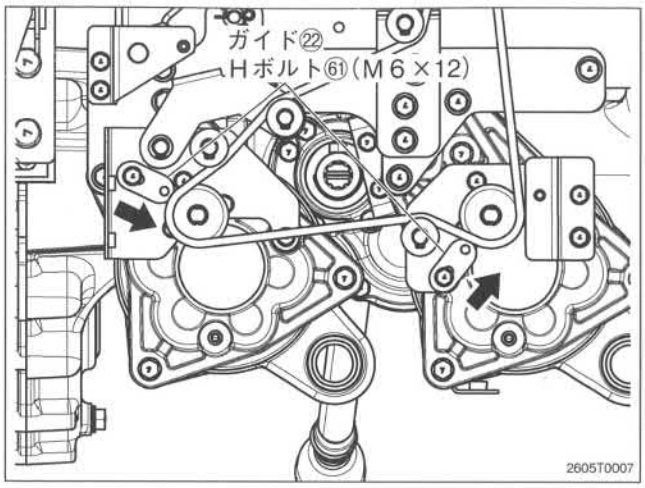
※３つのスプロケットの芯が合っていることを目視で確認してください。



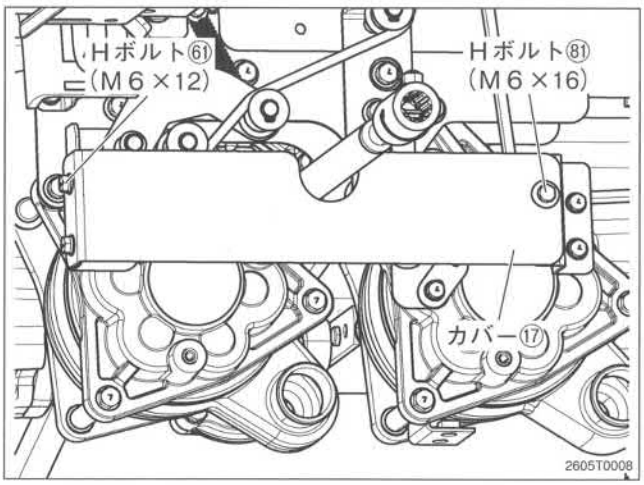

❼ テンションアームとプレートＦ⑮のピンにスプリング㉑をかけワッシャ⑦⑦とスナップピン⑦③で固定します。スイッチのプレートとテンションアームの隙間が８±１㎜となるよう，ローラ組立品⑲をＨボルト⑤⑨（Ｍ８×20）で固定します。



❽ ガイド㉒のピンの短い方を長穴に挿入し，長穴いっぱい矢印側に寄せてHボルト㊶（M６×12）で取付けます。




❾ カバー⑰をHボルト㊶（M６×12），Hボルト㊽（M６×16，大径ワッシャ付）で取付けます。

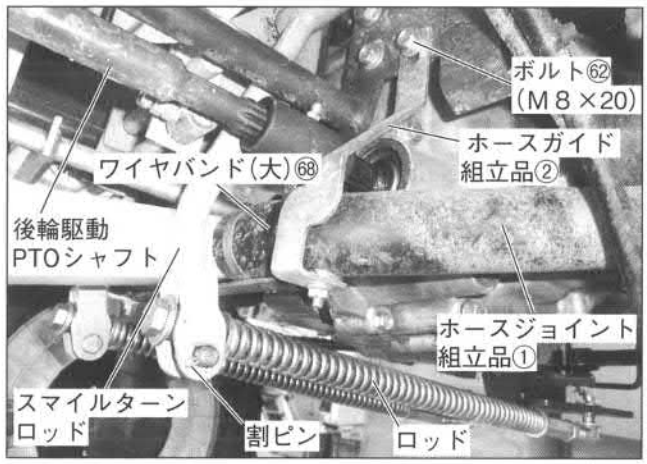



## 7．ホースジョイント組立品

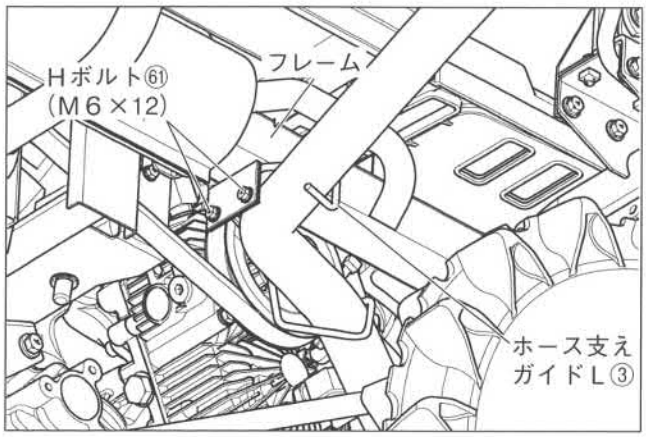
❶ ホースジョイント組立品①のゴムホースを，スマイルターンのロッド内側を通します。ホースガイド組立品を下から挿入，ホースを支えるようにホースガイド組立品②をHボルト㊷（M８×20）でフレームに左右仮付けします。

・スマイルターン取付ピンの割ピンを外し，ロッドを外しておくと作業が容易に行えます。スマイルターンロッドを戻すときは，付属の割ピン㊵を使用してください。

❷ ホースガイド組立品②にワイヤバンド（大）㊽で２箇所クランプし，後輪駆動ＰＴＯシャフトに当たらない位置でホースガイド組立品②を固定します。



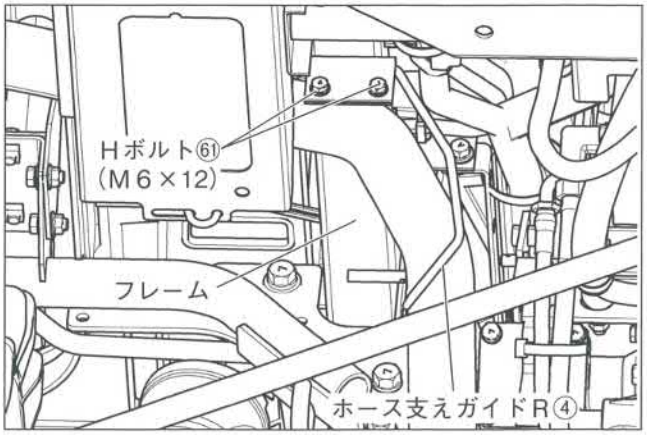

❸ 左側のホースにホース支えガイドL③を通し，左前輪奥のフレームにHボルト㊶（M６×12）で固定します。



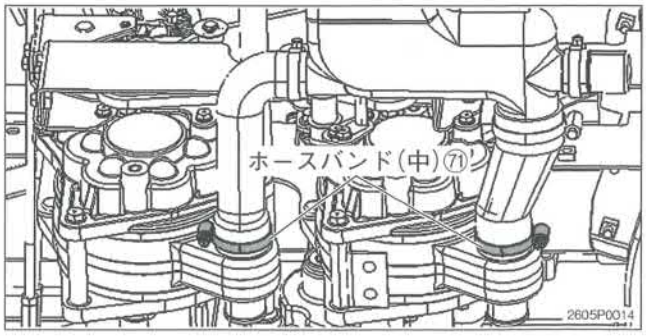
❹ 右側のホースにホース支えガイドR④を通し，右前輪奥のフレームにHボルト⑥1（M６×12）で固定します。（ホースにホース支えガイドをあらかじめ通しておくと，作業が容易に行えます。）

・左右のホースが同じ高さになっていることを確認してください。

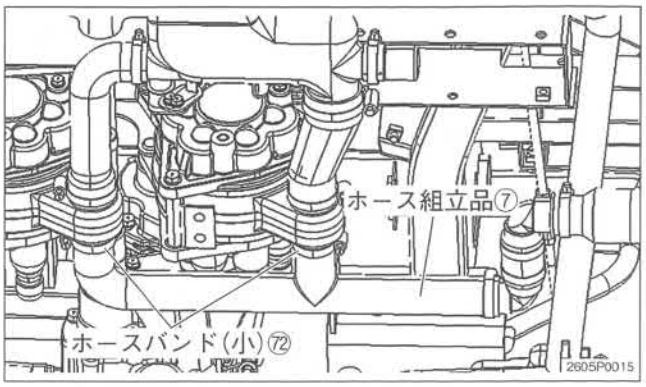
・ハンドルをいっぱいに切ったときに車輪およびドラッグリンクとホースが接触しないことを確認してください。



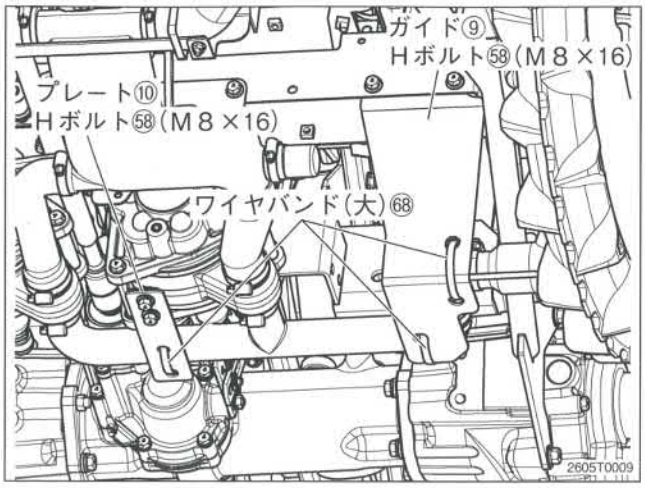

❺ ホースジョイント組立品①とポンプをゴムホース部でつなぎ（２箇所）ホースバンド（中）⑦1で固定します。



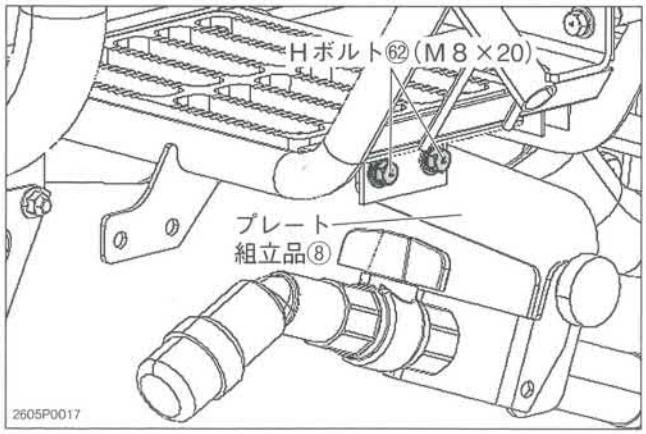

❻ ポンプとホース組立品⑦をつなぎ（２箇所）ホースバンド（小）⑦2で固定します。



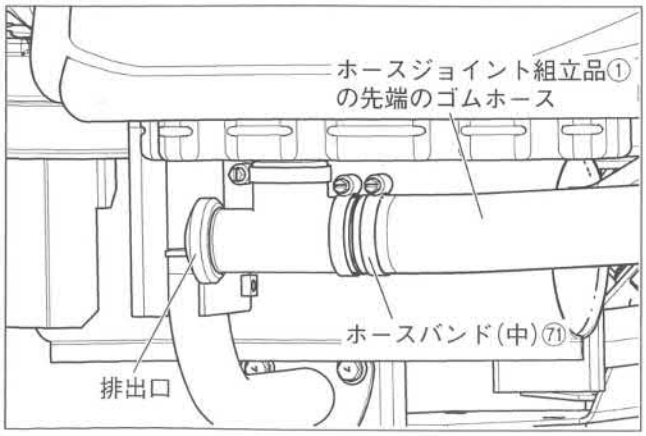

❼ ガイド⑨をフレームにプレート⑩をポンプ組立品A⑪にHボルト⑤8（M８×16）で取付け，ホースをワイヤバンド（大）⑥8で固定します。




❽ プレート組立品⑧をHボルト⑥2（M８×20）で固定し，ドレンホースのフックを引っかけ固定します。




❾ タンクの排出口とホースジョイント組立品①の先端のゴムホースを結合し，ホースバンド（中）⑦1で締付けます。

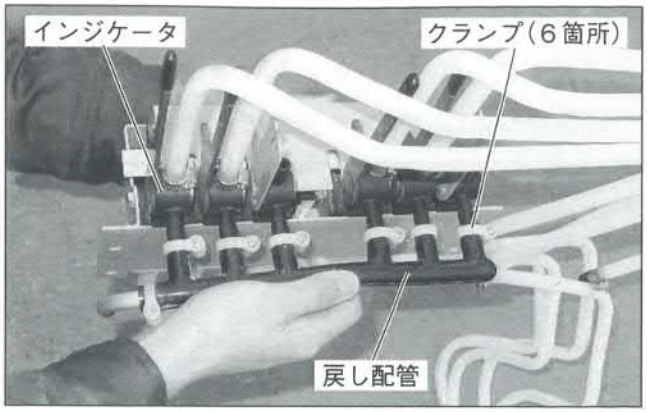


## 8. インジケータ組立品の取付け

左右共通の作業となります。

❶ インジケータの戻し配管を外します。

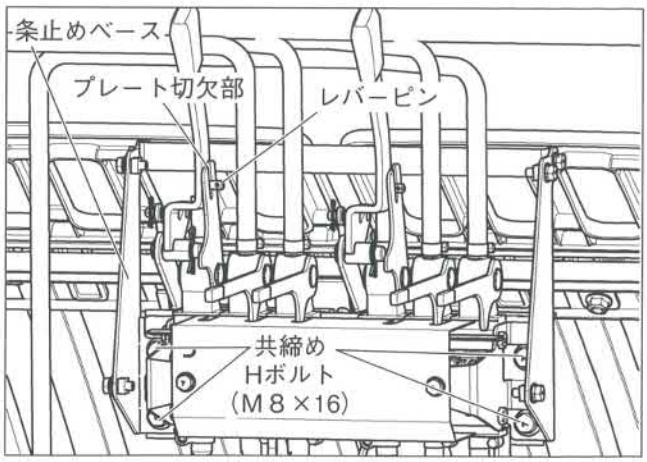
・クランプのねじをゆるめて外します。



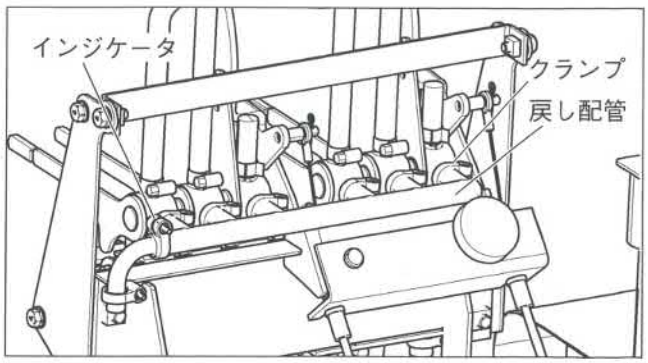

❷ インジケータ組立品を条止めベースに取付けます。

・条止めベース（ステーとブラケットのボルト止め）のHボルト（M8×16）を外します。

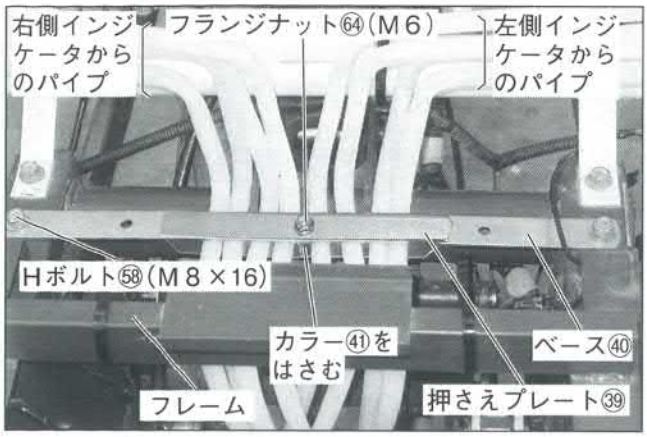
・植付条止めレバーのピンがインジケータのプレートの切欠部に入るように組付け，取外したHボルト（M8×16）で条止めベースとインジケータを共締めします。




❸ 裏側の戻し配管をインジケータに接続しクランプで固定します。（6箇所）クランプの向きは図示通り。

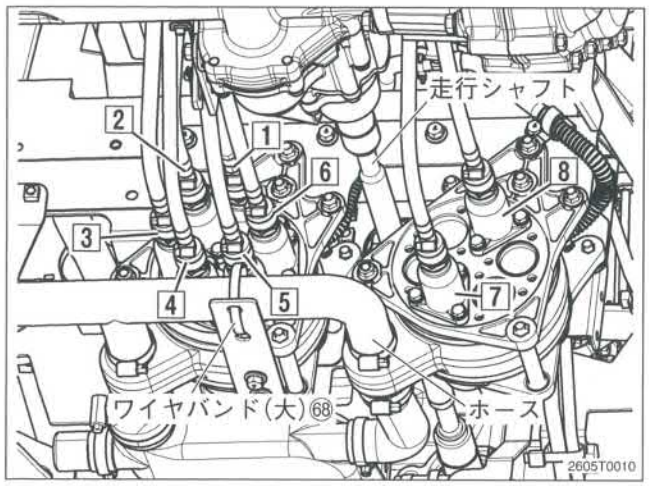



❹ ベース㊵をHボルト㊽（M8×16）でフレーム後方の開口部に固定します。インジケータの接続順にパイプをベース㊵に並べカラー㊶をはさんで押えプレート㊴をフランジナット㊹（M6）で固定します。

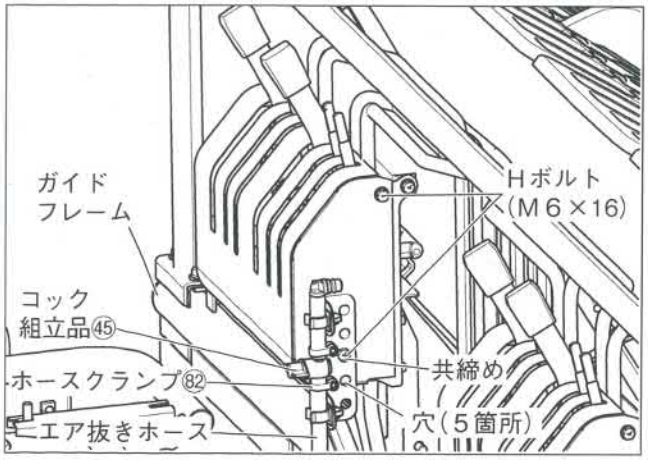



❺ ポンプのカプラとパイプを接続します。

・ホースをワイヤバンド（大）㊽でクランプします。

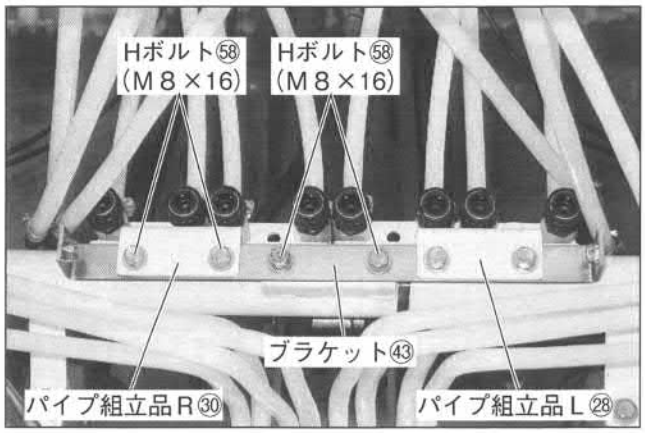



❻ 最初に外した条止めカバーを取付けます。エア抜きホースとコック組立品㊺をホースクランプ㊽で接続し，右側カバーの内側に共締めします。エア抜きホースに山谷ができないように5箇所の穴位置で調節し，真っ直ぐに付けます。

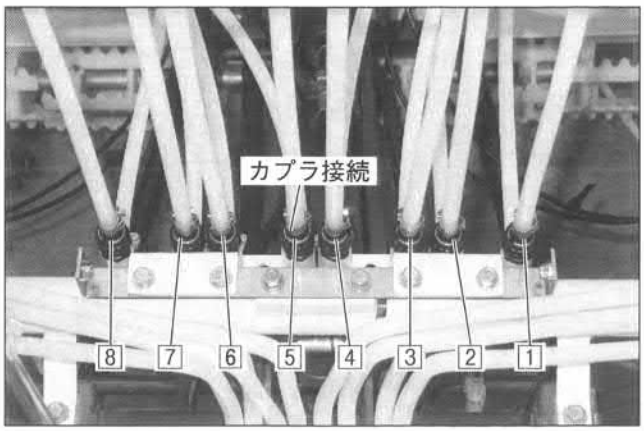


## 9. パイプ組立品の取付け

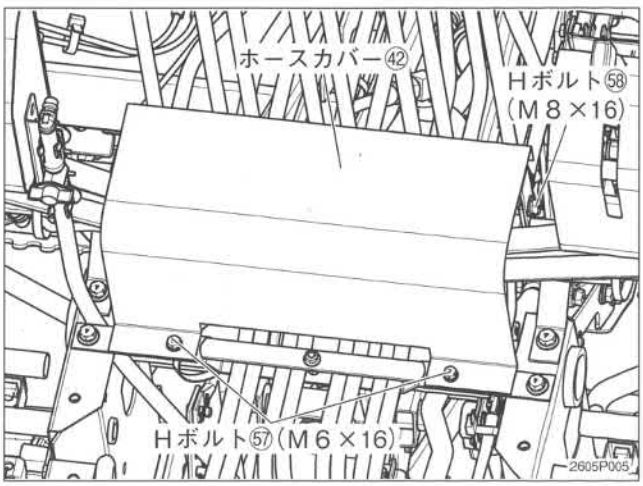
❶ ガイドフレームのサポート部にブラケット㊸をHボルト㊽（M８×16）で取付け，そこにパイプ組立品L㉘／R㉚をHボルト㊽（M８×16）で取付けます。




❷ インジケータ出口パイプ先端を中間カプラに接続します。（11～12ページ参照）




❸ ホースカバー㊷の両横をHボルト㊽（M８×16）と前方をHボルト㊼（M６×16）で取付けます。

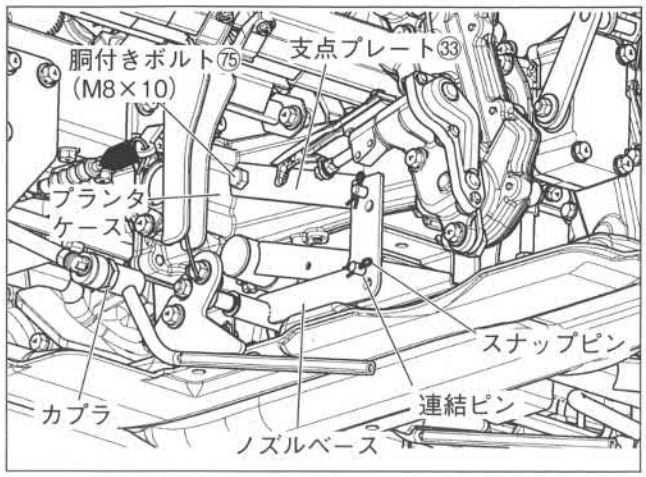



## 10. ノズル組立品の取付け

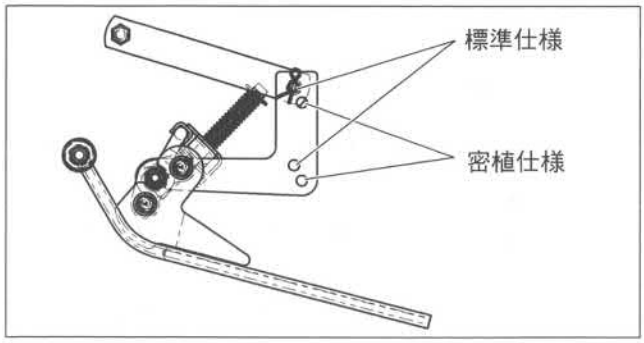
４箇所共通作業となります。

❶ フロートの連結ピンを抜いて，ノズル組立品㉛㉜のベースを同じピンで連結し，スナップピンで止めます。

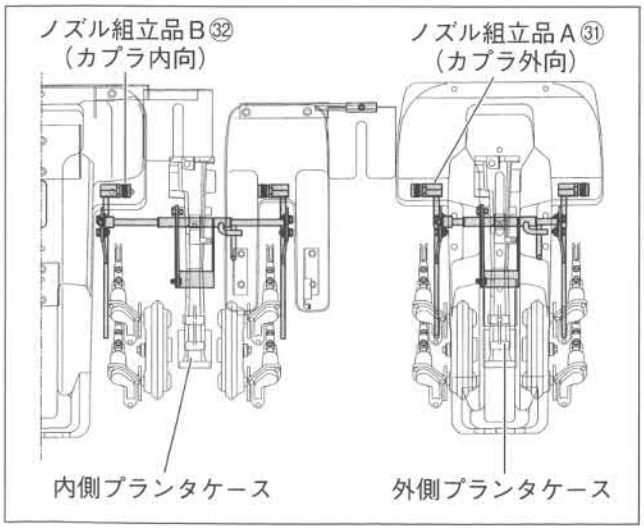
・ノズルの支点プレート㉝とプランタケースを胴付きボルト㉕（M８×10）で連結します。




・ノズルベースの取付穴は，標準仕様と密植仕様で異なりますので，注意してください。




・カプラが外側を向いたノズル組立品A㉛は左・右外側プランタケースの下部に，カプラが内側を向いたノズル組立品B㉜は，左・右内側プランタケースの下部にくるよう組付けます。



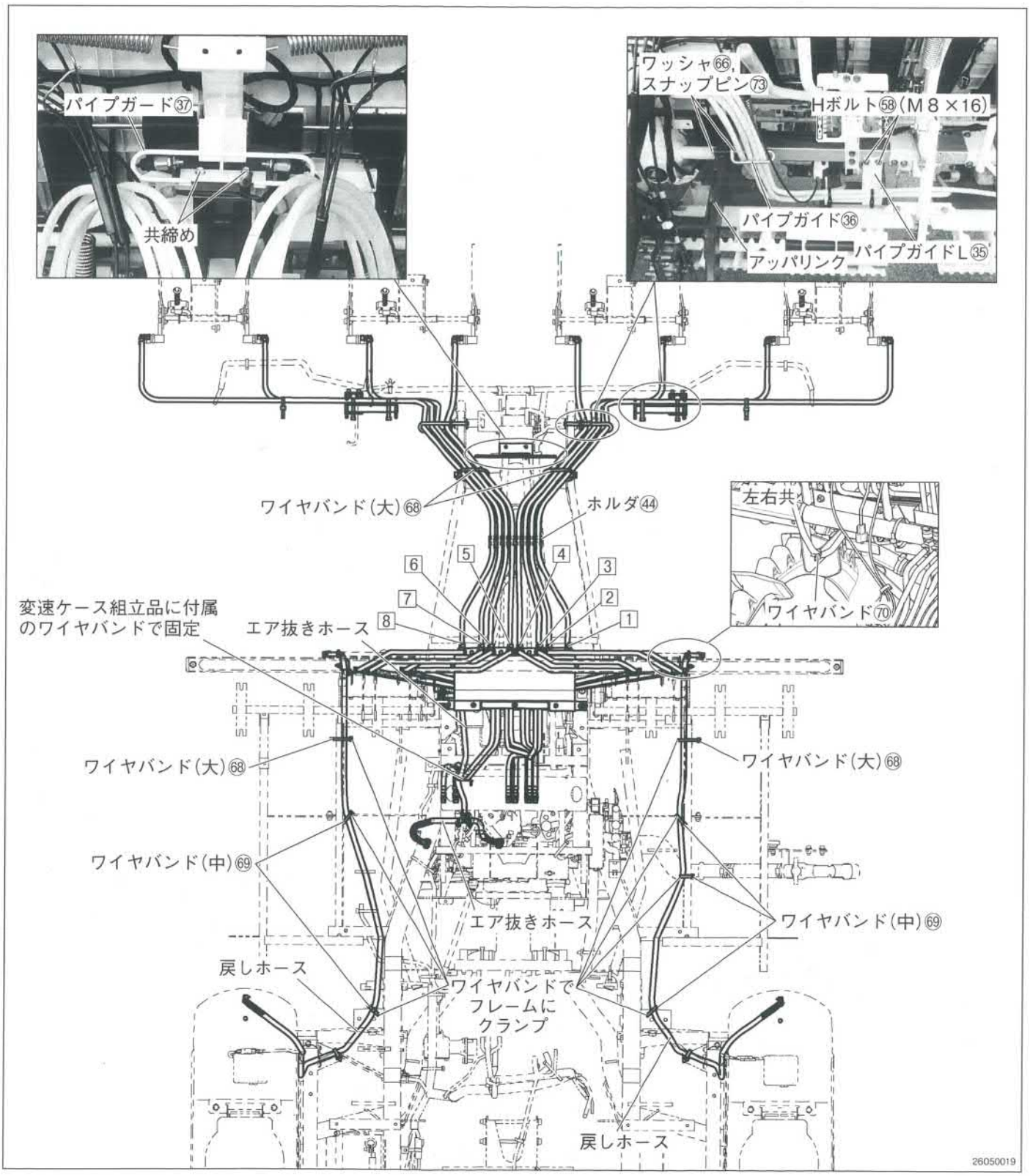
## 11. パイピング

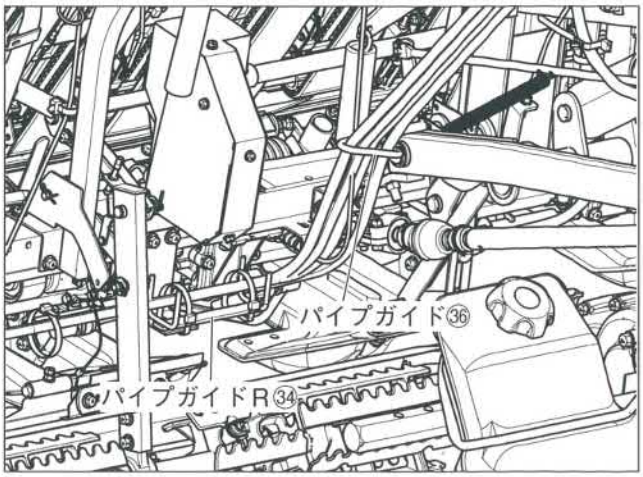
❶ パイプガイドL㉟・R㉞を植付部角パイプにHボルト㊽（M８×16）で取付けます。コの字プレートが内側に張り出す方向で取付けます。

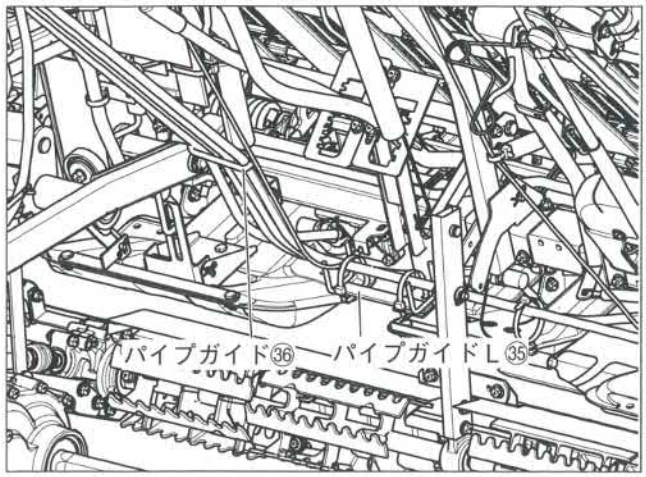
❷ パイプガイド㊱にパイプを通し，左右のアッパリンク丸パイプ部にワッシャ㊻，スナップピン㊸で取付けます。

❸ 水平制御スイッチプレートの取付ボルトを外し，パイプガード㊲を共締めし固定します。
（水平制御スイッチプレートの取付位置にマーキングをしておいてください。）

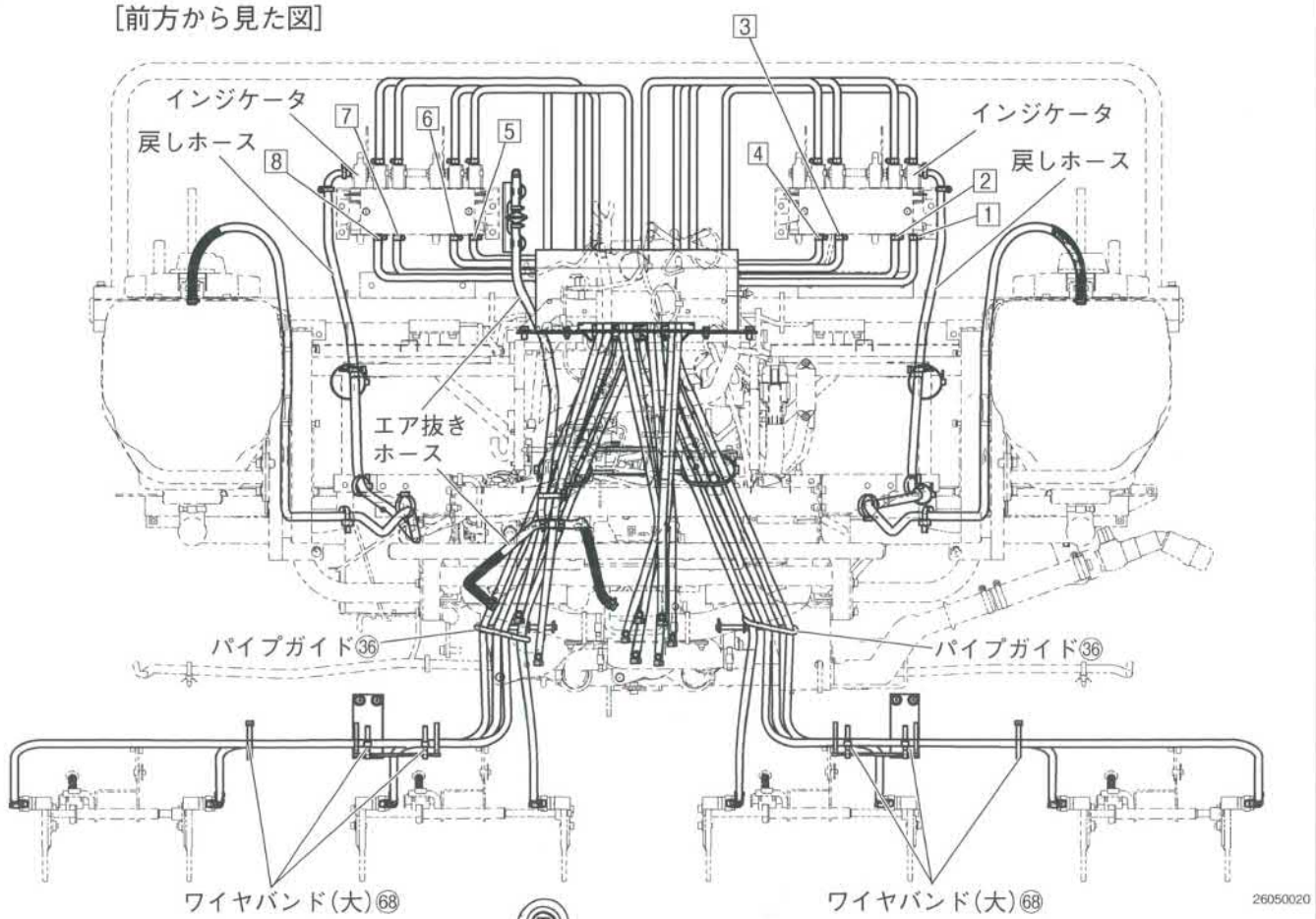
❹ 戻しホースはフレームに沿わせてタンクと接続します。



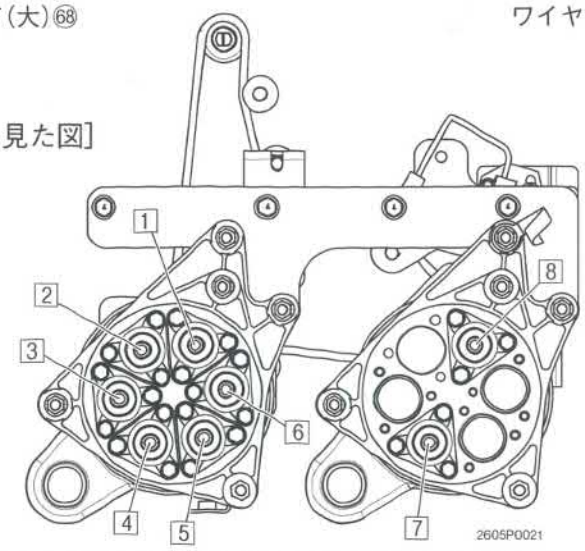



[前方から見た図]




[後方から見た図]



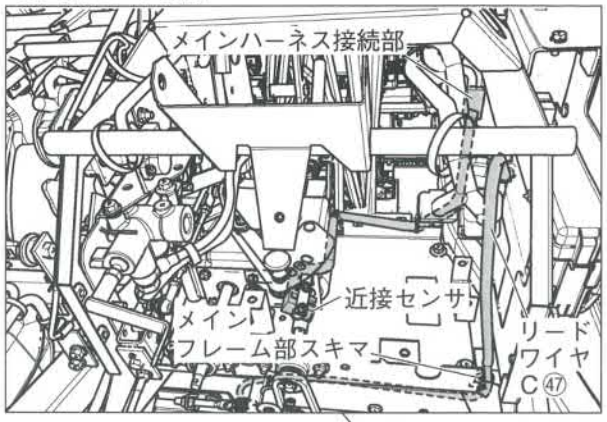
## 12. 電装関係の取付け

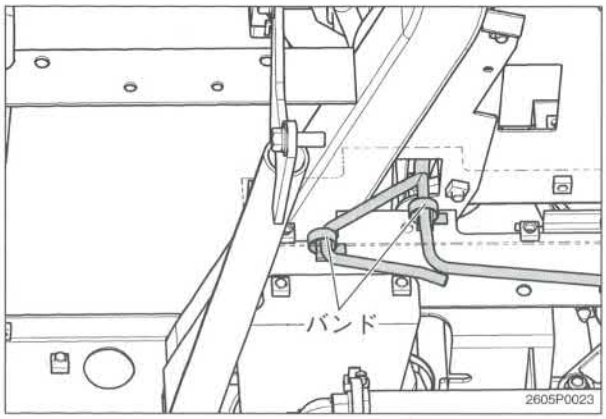
❶ 近接センサ（ペーストポンプ回転検出）のコネクタ（２極）を本機フレーム下部を通し，メインハーネスのコネクタと接続します。

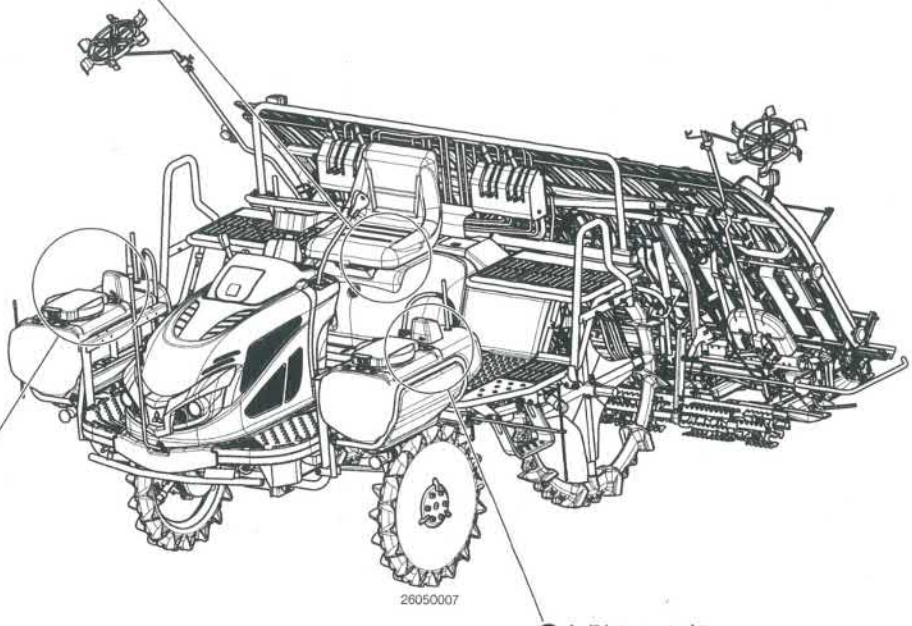
戻しホースの下を通しているリードワイヤC㊼をメインフレームの穴にバンドで固定した後メインフレーム部スキマを通してメインハーネスと接続します。

❷ リードワイヤTのコネクタ（２極）とメインハーネスコネクタを接続します。リードワイヤTのコネクタ（２極）とメインハーネスコネクタを接続します。

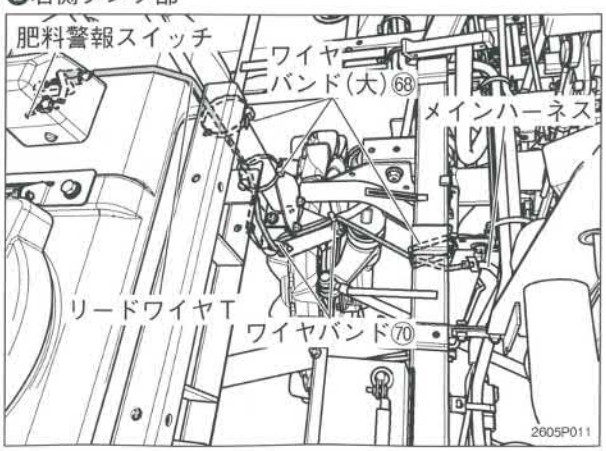
❶近接センサ接続



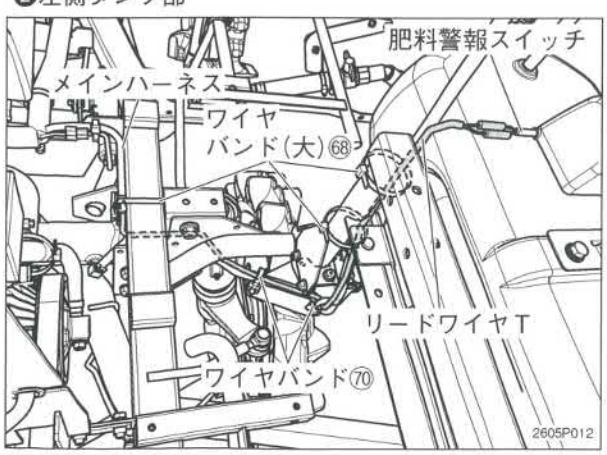



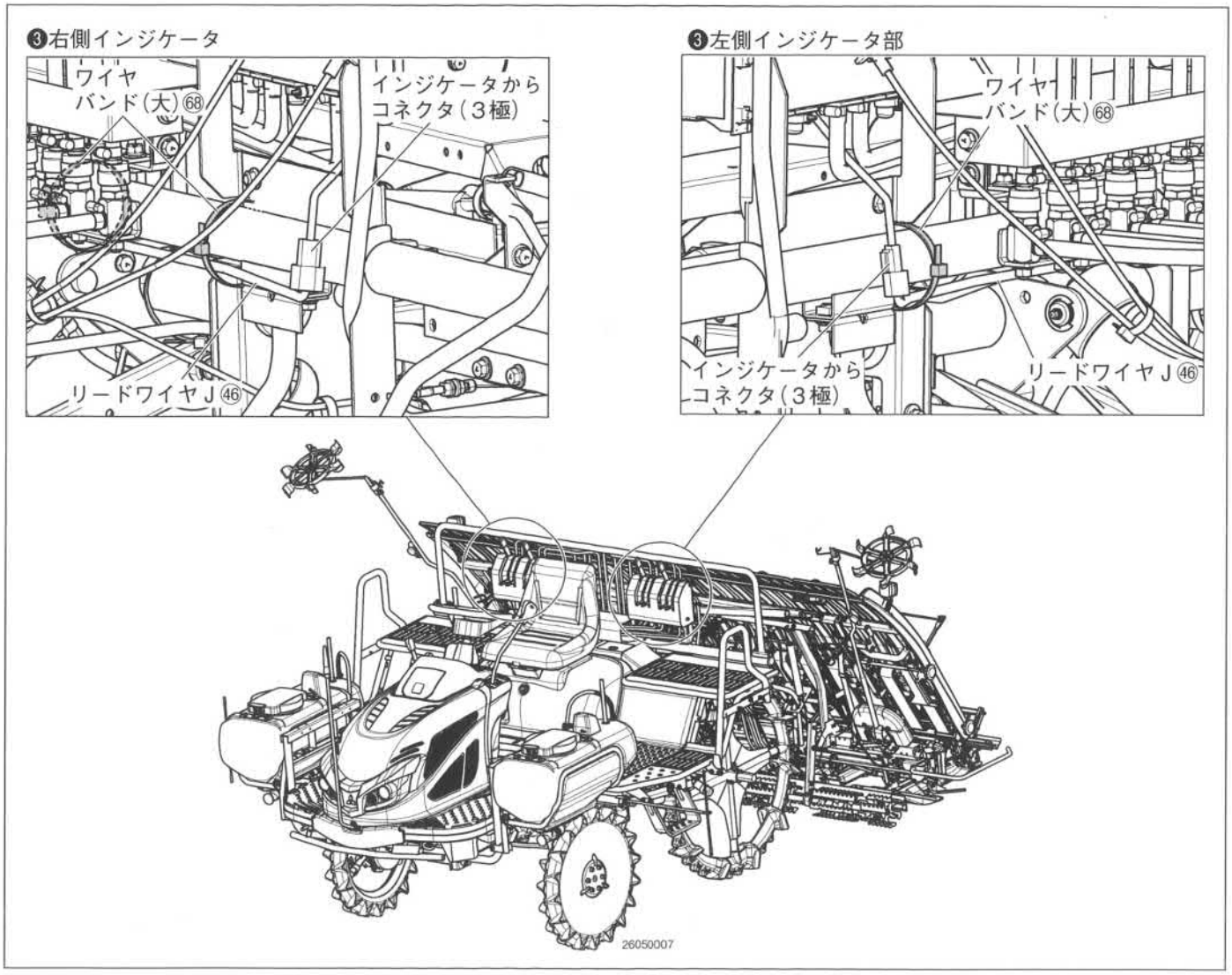

❷右側タンク部



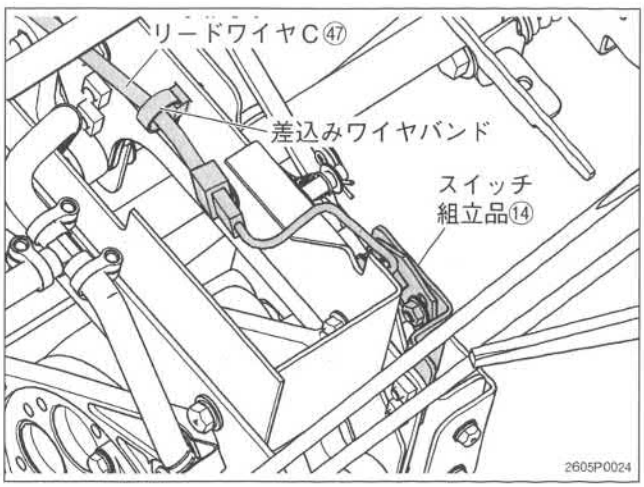

❷左側タンク部



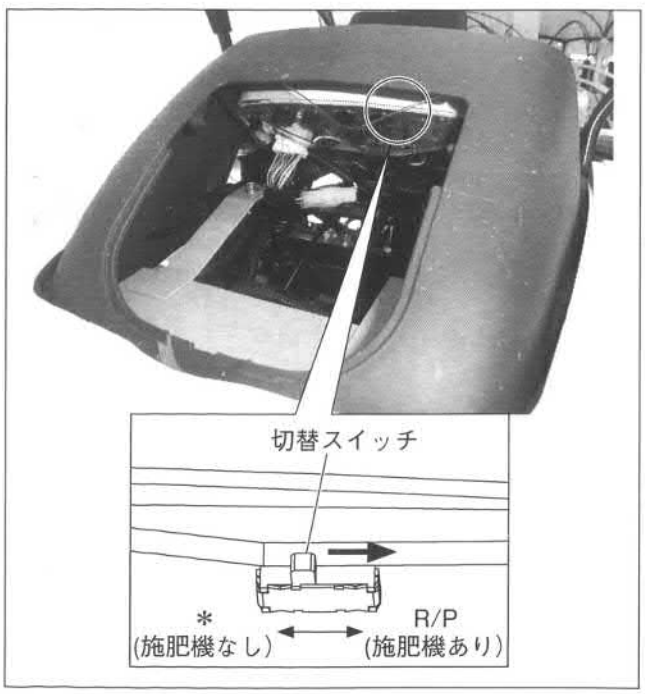
❸ 右側インジケータのコネクタとリードワイヤＪ㊻のコネクタ（３極）を接続し，他端を左側インジケータのコネクタ（３極）と接続するよう配索し，３番目のコネクタ（３極）とメインハーネスのコネクタを接続します。




❹ リードワイヤＣ㊼とスイッチ組立品⑭を接続します。フレーム内側の穴にリードワイヤＣ㊼の差込みワイヤバンドを差込み固定します。




❺ メータパネル前部のカバーを外します。メータパネルの裏に切替スイッチがあるのでR/P側にスイッチを操作します。



## 13. ＰＴＯクラッチの調整

❶ 調整前にタンク内に水を入れます。

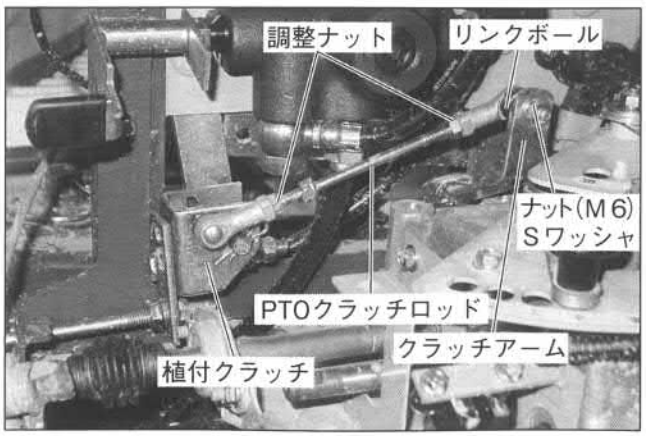
❷ クラッチアームとＰＴＯクラッチロッドの接続を外します。

❸ 本機の副変速レバー……「**Ｎ**」(**中立**)
エンジンコントロールレバー……「**低速**」
主変速レバー……「**前進**」低速
ペースト施肥機の主変速……「**１**」
副変速……「**低**」

エンジンをかけ，上記の条件にセットし，植付部を駆動させ（植付け爪を数回動かす），植付クラッチが入った状態で警報スイッチを押しながらエンジンを止めます。

❹ ＰＴＯクラッチロッドのリンクボールがクラッチアーム側の穴にスムーズに抜き差しできることを確認します。できないときはクラッチロッドのナットをゆるめロッドを回して長さを調整します。

❺ クラッチロッドのリンクボールをクラッチアームに取付けナット（Ｍ６）とＳワッシャで取付けてから，エンジンを始動し，植付クラッチに連動して，ペーストクラッチが働くことを確認します。




## 14. 外装の取付け

**2. 本機の準備** と逆の手順で取付けます。

❶ 条止めカバーを取付けます。

❷ リヤステップを取付けます。

❸ シート下カバーを取付けます。

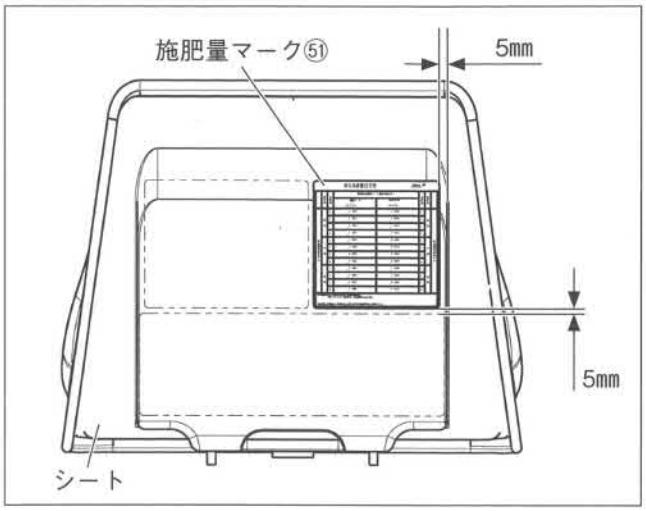
❹ シートを取付けます。

❺ パネルリヤカバーを取付けます。

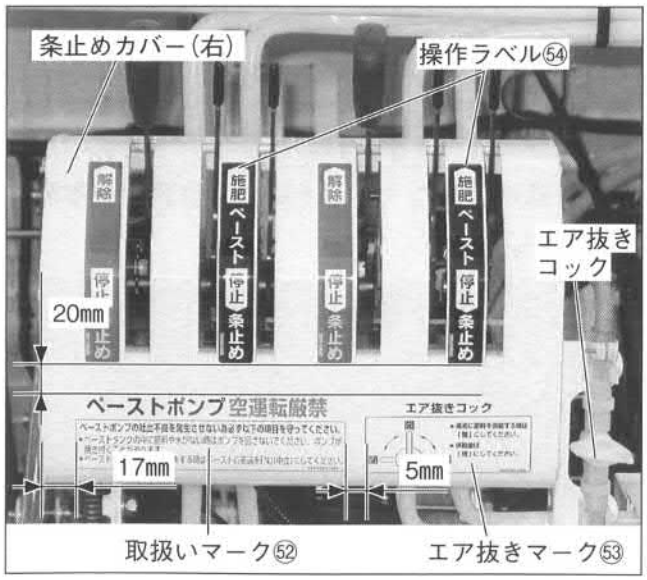
❻ コラムカバーを取付けます。

## 15. マークの貼り付け

❶ シートの後ろに施肥量マーク㊶を貼り付けます。




❷ 左・右の条止めカバーに操作ラベル㊹，右側の条止めカバーのみに取扱いマーク㊷，エア抜きマーク㊸を貼り付けます。



## 16. 組立後の確認

組立て後，つぎの点をチェックします。

❶ 各取付部のボルト・ナット類が確実に締付けてあるか確認します。

❷ 各ホース・パイプが確実に取付けてあるか確認します。

❸ 各配線が確実に取付けてあるか確認します。

❹ 各ホース・パイプ・配線が作動部に接触していないことを確認します。

❺ 植付部を上下動させ，パイプや配線の引張りのないことを確認します。

❻ インジケータの条止めランプの作動をランプ点灯にて確認します。

❼ 肥料警報センサの作動をランプ点灯・ブザー音にて確認します。

❽ ノズルの深さをノズルゲージで確認します。

## 17. ノズルゲージの使い方

※取扱説明書（ 手入れのしかた －各部の点検と掃除のしかた－ノズル深さの点検）を参照ください。